

2 教員への期待

教員の力量や言動、生き方は、幼児児童生徒の人格形成に大きな影響を与えるものである。それゆえ、いつの時代にも、教員には、教育者としての使命感、高い倫理観や協調性、人間の成長・発達についての深い理解、幼児児童生徒に対する教育的愛情、健康や安全に関する管理能力、広く豊かな教養と教科等に関する専門的知識、そしてこれらを基盤とした実践的指導力が求められる。

また、社会の変化の激しい今日、教員には、時代のニーズを把握する感性をもつことが必要である。さらに、幼児児童生徒や保護者の多様な価値観に適切に対応するとともに、広く社会と関わり、幅広い人間関係を築くことによって、自己の人間性や社会性を豊かにするなど、総合的な人間力を高めるよう努めることが求められている。

以上のように、教員は、その使命と責任を自覚し、互いに学び支え合い、協働して教育活動を推進し、保護者や地域の人々からの期待に応え、信頼を得ていかなければならない。

1 教育的愛情をもって、使命を全うしよう

教員は、人格形成の途上にある幼児児童生徒に大きな影響を与えるという点において、人の一生に関わる重大な役割を担っている。その使命の重さを自覚し、確かな指導力と幼児児童生徒への限らない愛情をもち、教育への情熱を燃やし続ける教員でありたい。

2 常に自己向上に努めよう

幼稚園教育要領及び学習指導要領の趣旨や内容を十分に理解し、幼児児童生徒の発達段階に応じて、基礎的・基本的事項の指導の徹底を図るとともに、一人一人の能力・適性に応じた指導を行い、充実感及び成就感や学習する喜びを体感させたい。そのためには、常に研修に努め、指導技術を磨き、教育への見識を高めるとともに、社会的視野を広げるなど、自己の向上に努める教員でありたい。

3 一人一人の個性を生かし、思いやりの心をもって接しよう

一人一人の幼児児童生徒がもっている「よさ」や可能性に目を向け、個性を生かしながら伸ばさせるようにしたい。また、幼児児童生徒の人格を尊重し、その言動を共感的に受け止め、心の触れ合いを大切にしたい。その中で、幼児児童生徒が今何を求め、何に悩み苦しんでいるかを的確に捉え、心の痛みを理解して、温かい指導・支援ができる教員でありたい。

4 心身の健康に留意しよう

一人一人の幼児児童生徒に丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を行っていくためには、心身ともに健康で、笑顔で明るく振る舞う教員でありたい。

5 伝統と文化を尊重し、国際理解を深め、国際感覚を身に付けよう

国際社会の中で、信頼と尊敬を得る人間を育成するためには、教員自らが、我が国の歴史と郷土について理解した上で、広い視野をもって異文化を受け入れ、国際協調の精神を培うことが大切である。国際化に対応した教育の在り方を常に模索し、日々の教育実践に生かすことができる教員でありたい。

6 社会の変化に対応できる力を備えよう

変化の激しい社会を生き抜くためには、新たな能力や先進的な知識を進んで身に付けていこうとする柔軟な姿勢が必要である。そのような資質や能力を育むために、日々の教育活動を改善していく教員でありたい。